

東北の国有林

令和5年度 東北森林管理局の取組



八甲田山
(青森県)



薬師岳・早池峰山
(岩手県)



駒ヶ岳
(秋田県)



月山
(山形県)



蔵王連峰不忘山
(宮城県)

平成11年3月1日に、秋田営林局及び青森営林局は東北森林管理局に改組され、今年25周年を迎えます。



国民の森林・国有林

林野庁 東北森林管理局

目 次

I 東北森林管理局について

1 沿革	1
2 組織	2
3 東北の国有林	3

II 事業内容

1 森林資源の適正な管理・利用

(1) 重視すべき機能に応じた管理経営	4
(2) 間伐・再造林による森林吸収量の確保強化	4
(3) 適正な伐採と再造林の確保	4
(4) 針広混交林等の森林づくり	5
(5) 森林整備・治山対策による国土強靱化	10

2 「新しい林業」に向けた取組の展開

(1) イノベーションで、伐採→再造林保育の収支をプラス転換	12
(2) 林業従事者の所得と労働安全の向上	14
(3) 長期・持続的な林業経営体の育成	14

3 木材産業の国際＋地場競争力の強化

4 都市等における「第2の森林」づくり

5 新たな山村価値の創造

6 その他の取組

III 令和5年度の取組

1 主要事業量

(1) 東北森林管理局計	22
(2) 県別内訳	23

2 国有林人工林の状況

3 県別重点取組

(1) 青森県における東北森林管理局の重点取組	26
(2) 岩手県における東北森林管理局の重点取組	28
(3) 宮城県における東北森林管理局の重点取組	30
(4) 秋田県における東北森林管理局の重点取組	32
(5) 山形県における東北森林管理局の重点取組	34

I 東北森林管理局について

1 沿革

国有林は明治維新の際に藩有林、社寺有林、所有不明林を継承して成立しました。局管内には、日本三大美林の青森ヒバ林、秋田スギ林が分布しており、針葉樹林と広葉樹林が広がっています。国有林では、これまで一世紀半、何世代にも渡り、森林づくりを続けてきました。



秋田杉子造材之図・伐木の図

1867年
(慶応3年)

大政奉還

1869年
(明治2年)

版籍奉還により、藩有林の多くは官林となる

1874年
(明治7年)

地租改正の一環として定められた「山林原野等官民有区分処理法」により、森林の所有者を明確にするための「官民有区分」開始

1878年
(明治11年)

内務省地理局 秋田出張所 同 青森出張所

1879年
(明治12年)

内務省山林局 秋田出張所 同 青森出張所

1881年
(明治14年)

農商務省 秋田山林事務所 同 青森山林事務所



秋田大林区署

1886年
(明治19年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署



青森大林区署

1888年
(明治21年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署

1889年～
(明治22年)

一部、御料局へ移管（宮城は御料地に編入）
(うち青森、岩手の一部は陸軍省へ)

1893年
(明治26年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署
明治27年 保安林取扱心得発令 ※宮城へ統合
明治30年 森林法制定

1897年
(明治30年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署
※青森へ統合

1903年
(明治36年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署
※宮城を青森、山形を秋田へ統合

1913年
(大正2年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署
大正4年 保護林の設定

1924年
(大正13年)

農商務省 秋田営林局 同 青森営林局



秋田営林局
明治33年竣工



青森営林局
明治41年竣工（現在は博物館）

1947年
(昭和22年)

林政統一 農林省林野局が一元的に所管

農林省林野局 秋田営林局（秋田、山形） 同 青森営林局（青森、岩手、宮城）

昭和26年 国有林野法制定
昭和39年 林業基本法制定

1978年
(昭和53年)

農林水産省林野庁 秋田営林局 同 青森営林局

1999年
(平成11年)

東北森林管理局 同 青森分局



昭和38年竣工（現在も使用）

2004年
(平成16年)

東北森林管理局（青森事務所）
平成11年 国有林野法改正（名称を国有林野管理経営法へ変更）

平成24年 国有林野管理経営法改正 平成30年 森林経営管理法制定 平成31年 森林環境税法制定 令和元年 国有林野管理経営法改正

令和2年 森林組合法改正 令和3年 公共建築物木材利用促進法改正(通称：都市の木造化推進法)

2 組織

林野庁

東北森林管理局

総務企画部

総務課

広報、研修、文書管理、職員の人事、給与、手当災害補償、健康安全、公務員宿舍、林野庁共済組合

企画調整課

企画、地方自治体等との連絡調整、局内の予算調整、業務の会計監査、事務改善、PC等システムの管理

経理課

経費及び収入の予算・決算、会計、債権管理、物品の調達・管理、役務の調達、庁舎の営繕、防火管理

計画保全部

計画課

森林計画の策定、野生動植物の保護管理、保護林、生物多様性の保全、管内各種図面の調製・保管等

保全課

国有財産の管理、処分、境界の保全、森林病虫獣害対策、官行造林契約、地域振興等を目的とした貸付等

治山課

保安林、森林治水事業（荒廃山地の復旧・予防対策等）、林野の保全に係る地すべり防止に関する事業

森林生態系保全センター
(津軽白神、藤里、朝日庄内)

森林生態系保護地域の保全管理、自然再生活動、森林環境教育、各種団体と連携した取組、情報発信等

森林整備部

森林整備課

国有林野の造林、林道の開設・改良その他の森林の整備、分収造林及び分収育林

資源活用課

持続的かつ計画的な供給のための国有林材の生産・販売やそのための調査、木材情報の受発信等

技術普及課

森林・林業に関する知識の普及、技術開発、自然再生及び民有林と連携した取組

森林技術・支援センター

国有林野を活用した試験地調査、研究機関と連携した取組、研修及び検討会の企画運営

青森事務所

青森・岩手・宮城の3県における、地元関係者との連絡調整や森林管理署への技術指導等

森林管理署・支署(24)

総務グループ

[福利厚生、経理、森林利用、財産管理]

業務グループ

[国有林野の森林整備、林産物の収穫・販売、林道、経営計画、森林環境教育]

治山グループ

[治山、保安林管理]

森林事務所(168)

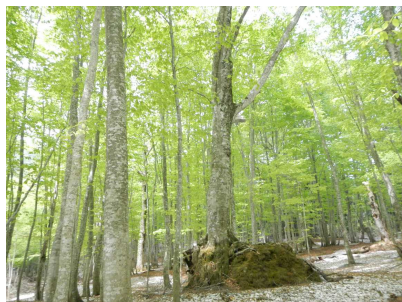
担当する国有林野の管理と各種事業の調査、監督、検査等

治山事業所(6)

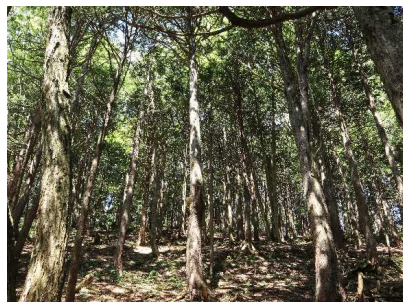
森林管理署等と分担した、担当区域の治山事業（山地災害の防止、復旧等）

3 東北の国有林

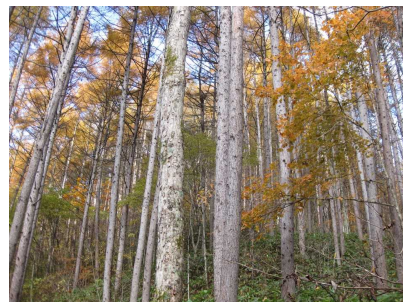
- 青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県の5県にまたがる国有林野を管理経営
5県の県土面積532万haのうち、国有林の面積は約31%に当たる165万ha
- 青森ヒバの天然林が津軽・下北半島を中心に、秋田杉の天然林が秋田県北部を中心に分布し、
ブナ・ミズナラなどの天然広葉樹林は奥地脊梁山地などに広く分布
- 人工林の植林や間伐などの森林整備、スギ・カラマツ等の木材供給を通じた木材産業支援等で
地域振興に貢献



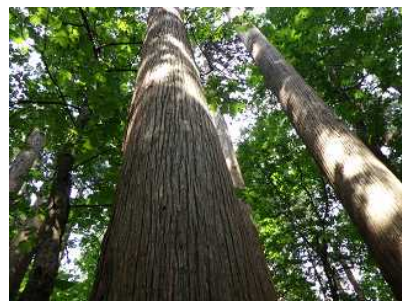
白神山地のブナ林（藤里センター）



青森ヒバ天然林（青森署）



カラマツ人工林（三陸北部署）



秋田杉天然林（上小阿仁支署）



海岸防災林（仙台署）



蔵王地域の樹氷（山形署）

〈森林資源の状況〉

区分	県土面積 (千ha)	森林面積 (千ha)		森林率※ (%)		国有林の林種別面積 (千ha)		
			うち国有林		うち国有林	人工林	天然林	その他
青森県	965	629	391	65%	41%	134	239	18
岩手県	1,528	1,169	385	77%	25%	157	198	30
宮城県	728	412	126	57%	17%	44	73	9
秋田県	1,164	839	391	72%	34%	152	219	20
山形県	932	669	353	72%	38%	61	266	26
計	5,316	3,719	1,646	70%	31%	547	995	104

区分	国有林の樹種別蓄積 (千m ³)							
	スギ	カラマツ	ヒバ	アカマツ	その他N	ブナ	ナラ類	その他L
青森県	20,653	2,295	13,319	2,342	1,415	16,129	2,052	16,453
岩手県	9,857	9,336	679	7,877	1,663	10,569	3,123	18,219
宮城県	4,925	1,101	47	2,580	448	6,325	479	6,406
秋田県	30,053	2,104	360	617	1,414	14,351	1,575	13,479
山形県	12,844	1,192	75	465	801	12,787	1,877	11,324
計	78,332	16,028	14,480	13,881	5,740	60,162	9,107	65,882

出典：国有林面積及び民有林面積は、林野庁「森林資源の現況（平成29年3月31日現在）」

国有林の蓄積は、東北森林管理局「令和4年事業統計書（令和3年度版）」

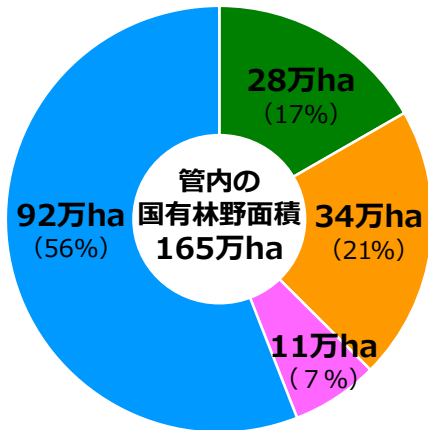
※森林率：県土面積に対する森林の割合

II 事業内容

1 森林資源の適正な管理・利用

(1) 重視すべき機能に応じた管理経営

森林づくりに当たっては、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの多様な要請に適切に対応するため、個々の国有林を重点的に発揮させるべき機能によってタイプ別に区分し、管理経営の主目的を明確化した上で、**それぞれの機能が十分発揮されるよう適切な施業を推進**します。



■ 山地災害防止タイプ

山崩れなどの山地災害を防止する機能を重視

■ 自然維持タイプ

森林生態系の保全や貴重な野生動植物の保護など自然環境を保全する機能を重視

■ 森林空間利用タイプ

レクリエーションなど森林とのふれあいの場を提供する機能を重視

■ 水源涵養タイプ

良質で豊かな水を供給する機能を重視

出典：東北森林管理局「令和4年事業統計書（令和3年度版）」

(2) 間伐・再造林による森林吸収量の確保強化

地球温暖化防止には、森林整備や木材利用等による森林吸収源対策が重要です。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、**適切な間伐等の実施、天然生林等の適切な管理・保全**などに取り組みます。また、中長期的な森林吸収量の確保・強化を図るため、間伐等特措法に基づく新たな措置を活用し、成長や材質に優れた**エリートツリー等の再造林を促進**します。



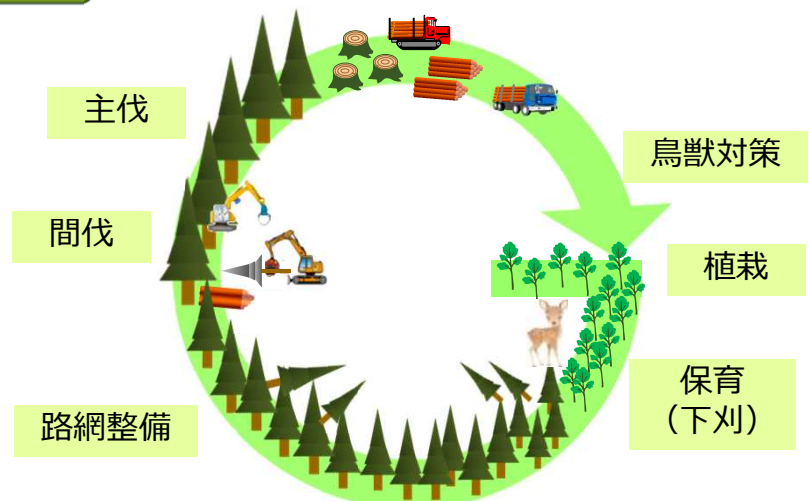
エリートツリー
(成長や材質に優れた苗木)

(3) 適正な伐採と再造林の確保

◆ 森林資源の循環利用

森林の多面的機能が高度に発揮されるよう、利用期に達した森林を自然環境に配慮しながら適切に伐採するとともに、確実な更新を行うことで、豊富な森林資源を「**伐って、使って、植えて、育てる**」という形での循環利用を推進します。

また、これらの取組を効率的に進めるため、**現地に即した林道等の路網整備**も進めます。



◆林地保全に配慮した施業

民有林の模範となるよう、とりわけ山地災害リスク軽減に向けて、これまで以上に**きめ細やかに林地保全に配慮した施業**に取り組みます。具体的には、森林整備や木材の集材・搬出のために利用する森林作業道について、林地崩壊を招かないよう、事業者と共にチェック体制を定着させ、**森林作業道作設指針に沿って定めた特記仕様書等に基づく作設**に取り組みます。



森林作業道（イメージ）

（４）針広混交林等の森林づくり

◆多様な森林づくり

森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくため、現地の状況に応じた**多様で健全な森林への誘導**を推進します。

林齢や樹種の違う複層状態の森林の整備（**育成複層林**）、針葉樹と広葉樹の混交を促進する施業（**針広混交林化**）等に取り組みます。

育成複層林



林齢や樹種の違う
複層状態の森林の整備

針広混交林



針葉樹と広葉樹の混交
を促進する施業

【ヒバ林復元プロジェクト：平成28年度～令和8年度】

津軽半島及び下北半島の青森ヒバ林の拡大・充実を図ることを目的に、スギ等人工林のヒバ稚幼樹が旺盛に生育している林分を将来的にはヒバ林へ復元する取組として「青森ヒバ林復元プロジェクト」を実施しています。

令和4年度は、複層伐（帯状）実施個所において現地見学会を開催するとともに、ヒバ稚幼樹の成長調査を行いました。

令和5年度もスギ等の複層伐や間伐実施個所においてヒバの成長調査を行う等、**スギ等人工林に生育するヒバ稚幼樹を育成**する取組を行います。



現地見学会の様子



天然更新により旺盛に生育しているヒバ稚幼樹

◆青森ヒバと秋田スギの美林誘導プロジェクト

国有林では、現存する青森ヒバ天然林の美林及び秋田スギ天然林の美林は、保護林、レクリエーションの森として、維持・保護にこれまで努めてきましたが、自然災害等により、その姿が失われたり、変わったりしてしまう可能性もあります。

そこで、観光産業や木材産業への貢献も視野に入れ、現在青森ヒバ及び秋田スギの美林に準じた林分に手を加えて、三大美林の概念が形成された明治後期の美林の林況を満たせるよう誘導して、美林を増やすことについて検討・試行を実施します。



青森ヒバ美林（青森署：青森県青森市）



秋田スギ美林（上小阿仁支署：秋田県北秋田郡上小阿仁村）

■青森ヒバ美林への誘導

誘導開始前



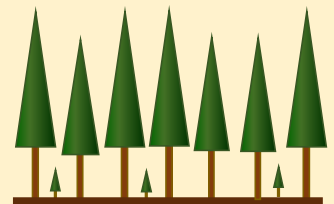
これまで択伐等が行われ、ヒバと高木性広葉樹が適度に混交する林分

50年後【誘導中】



必要に応じて、広葉樹や形質不良木について、除間伐を実施

100年後以降【ヒバ美林誘導完了】

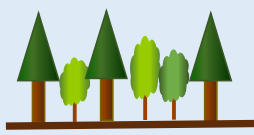


- 樹齢100~200年
- 伸長優秀
- 高蓄積
- 純林（混交率95%以上）
- 昼なお暗し

■秋田スギ美林への誘導

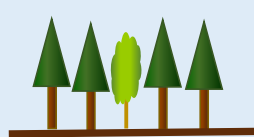
誘導開始前

巨木林タイプ



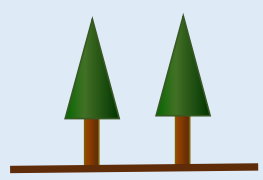
これまで間伐が強度に行われ、スギの肥大成長が活発な林分。侵入広葉樹の成長も良好。

鬱蒼林タイプ

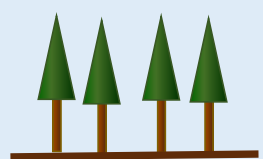


これまで間伐が弱度に行われ、スギの肥大成長が抑えられている林分。侵入広葉樹の成長も抑えられている。

150年生【誘導中】

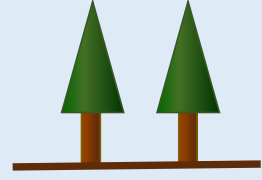


間伐の際にスギも広葉樹も積極的に伐採

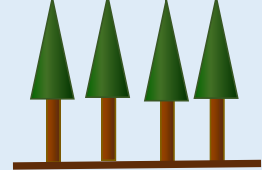


間伐の際に広葉樹は積極的に伐採するが、スギは必要最低限

250~300年生【スギ美林誘導完了】



幹周り3m以上の巨樹が点在する純林



幹周り2m程度の大木が混んだ純林



◆生物多様性の保全

森林生態系は野生動植物の生息・生育の場や種・遺伝子の保管庫として、生物多様性の保全にとって最も重要な位置を占めています。東北森林管理局では、様々な林齢からなる多様な森林生態系の保全に取り組んでいます。

■保護林

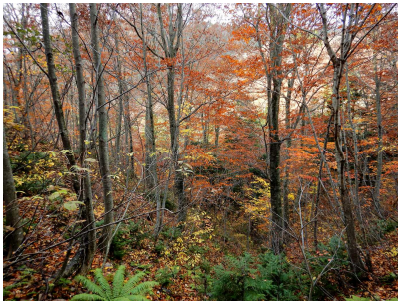
大正4年（1915年）に発足した保護林制度では、国有林野内の**森林生態系や希少な野生動植物を将来にわたって保護・管理**していくため、「森林生態系保護地域」、「生物群集保護林」、「希少個体群保護林」を設定し、適切な保全に取り組んでいます。

森林生態系保護地域 【8箇所 119,600ha】
気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理

生物群集保護林 【16箇所 77,721ha】
地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理

希少個体群保護林 【71箇所 2,294ha】
希少な野生動植物の生息・生育に必要な森林を保護・管理

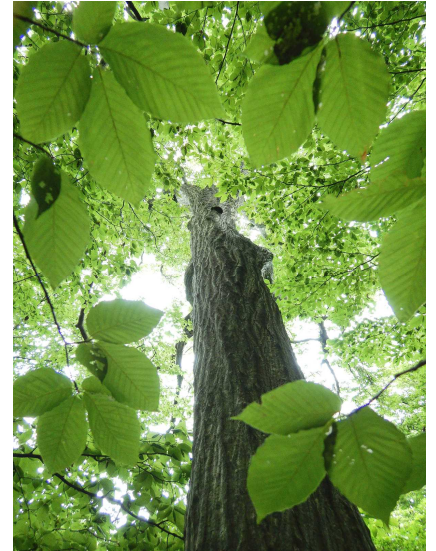
(R4.4.1時点)



恐山山地森林生態系保護地域
ブナ林内のヒバ稚幼樹（下北署）



葡萄森生物群集保護林_ブナ林
（秋田署）



小黒崎アカシデ遺伝資源希少個体群保護林
（宮城北部署）

■緑の回廊

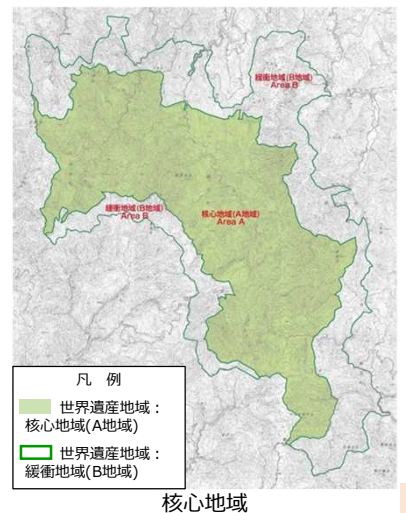
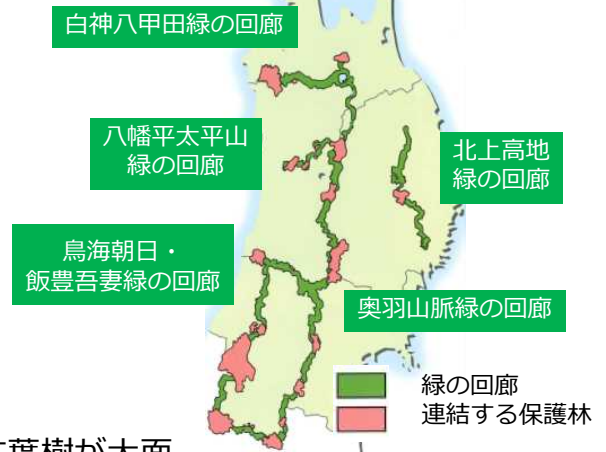
動植物の個体群の交流を促進して、種の保全や遺伝的な多様性を確保するため、**保護林を連結してネットワークを形成**する「緑の回廊」を設定しています。

東北森林管理局では、全国に先駆けて平成12年度からこれまでに5箇所設定しており、総延長約900km、面積約18万haとなっています。

■世界自然遺産 白神山地

白神山地の国有林は、ブナを中心とする冷温帯落葉広葉樹が大面積に分布し、雄大な山岳景観とともに、そこに生息・生育する動植物がとても豊富です。きわめて貴重な天然林であるため、森林生態系保護地域に指定しており、平成5年には世界遺産条約に基づく自然遺産として登録され、令和5年12月で登録30周年を迎えます。地域内は、**人手を加えずに自然の推移に委ねる「核心地域」と、必要に応じ一定の行為を規制する「緩衝地域」**に区分されています。核心地域は、青森県側の指定ルートでの登山や学術研究などの場合を除き、入林を制限しており、入林の際には手続きが必要です。

世界自然遺産地域の多様な動植物の保護のため、周辺地域において地方自治体、NPO団体等と連携を図りながら、密漁やゴミの不法投棄などを監視するための**パトロール**や、**森林の適切な管理**等に取り組んでいます。



◆ 病虫獣害対策等

■ ナラ枯れ被害対策

被害の拡大を防止するため、**被害発生状況の的確な把握と関係者との情報共有**、重点的・効果的な防除対策に取り組みます。伐倒くん蒸や樹幹注入など従来から実施してきた防除事業のほか、**「おとり丸太法」**についても取り組みます。

おとり丸太の実施

R4：4(支)署

→ R5：4(支)署



ナラ枯れ被害木の伐倒くん蒸
(三陸北部署：岩手県岩泉町)



ナラへ予防薬剤の樹幹注入
(秋田署：秋田県仙北市)



おとり丸太によるカシノナガキクイムシ誘引
(津軽署：青森県深浦町)

■ 松くい虫被害対策

日常的な巡視により被害動向を把握し、被害木の処理、保護林・公園等の貴重な松を守るための**予防薬剤の樹幹注入**、海岸のクロマツ林を保護するための**予防薬剤の地上散布**、被害にあったクロマツ林を再生するための**準抵抗性クロマツ苗の植栽**を実施します。



ドローンを活用した松くい虫被害確認
(庄内署：山形県酒田市)



予防薬剤の地上散布
(米代西部署：秋田県能代市)



準抵抗性クロマツ苗の植栽
(庄内署：山形県酒田市)

【蔵王地域のオオシラビソ林の再生】

関係機関（研究機関を含む）と連携し、キクイムシ等により被害を受けたオオシラビソ林の再生に平成27年度から取り組んでいます。

平成28年度、山形県側では平成25年秋に確認されたトウヒツヅリヒメハマキ（蛾の幼虫）による大規模な食葉で、樹勢が弱まったところに、トドマツノキクイムシが穿入し、樹皮下で繁殖したことによる集団枯損が発生しました。また、宮城県側では平成29年度に面的な立枯れが確認されました。

令和4年度調査では、被害区域の拡大は確認されませんでした。今後も継続的な被害状況の把握を行い、併せて再生に向けた取組を実施します。また、令和5年3月に山形県で発足した**「樹氷復活県民会議」**に**オブザーバーとして参画**し、官民一体となった取組を進めます。



樹氷復活県民会議設立会議の様子
(2023年3月)
(山形署：山形県山形市)

◇ 被害状況の把握

- ① ドローンを活用した被害状況のモニタリング
- ② トウヒツヅリヒメハマキの食葉被害の継続調査
- ③ キクイムシによる被害のモニタリングの継続調査
- ④ 林況調査の継続等



被害状況ドローン撮影（2022年8月）
(仙台署：宮城県蔵王町)

◇ 再生に向けた取組

- ① 自生稚樹の試験的移植等
- ② 種子の採取
- ③ 研究機関等との連携



移植した自生稚樹（2022年6月）
(山形署：山形県山形市)

■ニホンジカ被害対策

委託による捕獲事業、自治体等へのワナ貸出協定、協定に基づく捕獲支援のための林道除雪を行うなど、地域と連携したシカ捕獲を実施します。

また、専門家と連携して、白神山地周辺ではセンサーカメラや食痕等に付着したDNAを利用した生息状況の把握や捕獲に向けた調査、早池峰地域では貴重な高山植物を守るための植生保護柵の設置等を実施します。

自治体等へのわな貸出数

R4 : 452

→ R5 : 463



くくりワナに掛かったニホンジカ
(岩手県花巻市)



早池峰山での植生保護柵の設置
(三陸北部署：岩手県宮古市)



捕獲支援のための林道除雪
(遠野支署：岩手県遠野市)

■ツキノワグマによる剥皮被害対策

関係者と連携し、被害発生状況の的確な把握と情報共有、効果的な防除対策の試行・検討に取り組めます。また、被害木の有効活用に向けて、被害地における森林整備の方法について検討を進めます。

被害防除対策の実施

R4 : 12.59ha

→ R5 : 15.00ha



ツキノワグマによる剥皮
(山形県小国町)



町と連携した被害木調査
(置賜署：山形県小国町)



職員による被害防除対策
(置賜署：山形県米沢市)

■地域住民や関係各機関との連携

森林ボランティアや市町村等と連携して、遊歩道の環境整備や不法投棄物クリーン活動等に取り組めます。また、林野火災や不法投棄防止のための合同パトロール等に取り組めます。



森林ボランティアとのクリーンアップ活動
(由利署：秋田県由利本荘市)



市との山火事防止合同パトロール
(青森署：青森県青森市)



町との不法投棄クリーン活動
(盛岡署：岩手県矢巾町)

(5) 森林整備・治山対策による国土強靱化

◆ 森林整備による多面的機能の維持・増進

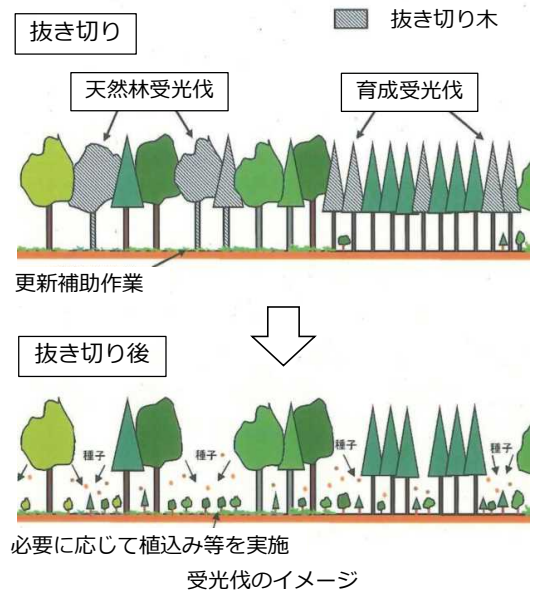
水源涵養機能、山地災害防止機能等、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、間伐や受光伐等の適切な森林整備に取り組みます。



保護伐
(モザイク状の伐採による面的複層林)



保育間伐活用型(列状間伐)



保護伐：針葉樹と広葉樹が混交した保護樹帯の整備やモザイク状の森林への誘導のための伐採

保育間伐活用型：森林のもつ公益的機能を高度に発揮させるため、密度調整の伐採を行うとともに、伐倒木を造材・集材・巻立し資源を有効利用

受光伐：天然力の活用等により広葉樹等を導入するための主伐及び下層木の育成のため光環境の改善と生育空間の確保を目的に行う間伐。

◆ 治山対策による山地防災力の強化

■ 荒廃林地の復旧整備

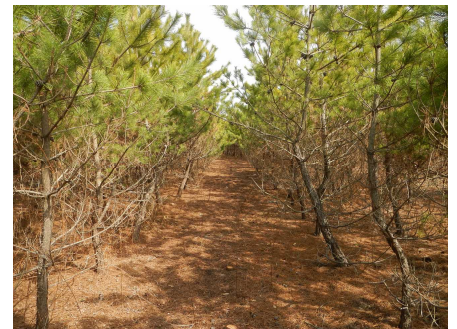
近年多発している台風、集中豪雨等により、山地災害が発生した場合、**迅速に現況調査を行い、応急対策及び災害復旧対策**を実施します。また、東日本大震災により被災した海岸防災林について、適切な時期に本数調整伐等を実施し、健全な林分の育成に取り組みます。



下風呂(1) 災害関連緊急治山工事
【令和3年台風9号】
(下北署：青森県鳳間浦村)



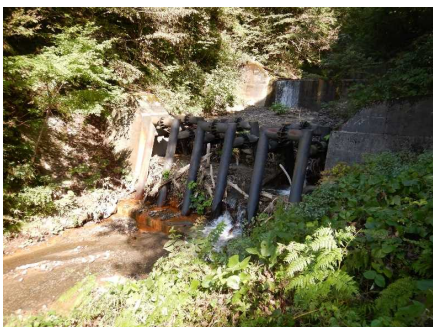
暖日山治山・林道災害復旧工事
【令和2年7月豪雨】
(山形署：山形県朝日町)



海岸防災林の育成・本数調整伐
(仙台署：宮城県仙台市)

■ 災害発生危険性低減のための予防対策

山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、流木や土石流、山腹崩壊の発生を抑制する**治山施設の整備**等による防災・減災対策を推進します。



上流からの流木等の捕捉状況
(津軽署：青森県平川市)



火山対策(溪間工)
(秋田署：秋田県仙北市)



なだれ予防対策(スノーネット工)
(由利署：秋田県由利本荘市)

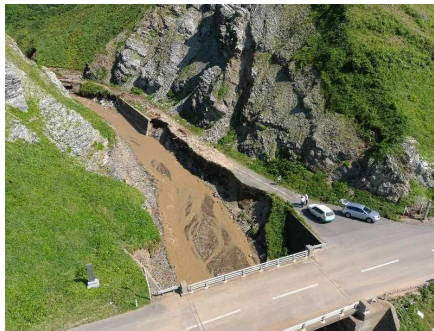
◆災害発生時の迅速な対応

■山地災害発生時の初動対応

山地災害が発生した（発生のおそれがある）場合には、早期に被害状況を把握するため、ヘリコプターによる上空からの調査に加え、地上からは国有林防災ボランティアの協力やドローン等も活用して効率的な調査を実施します。



ヘリコプターによる宮城県との合同調査



ドローンを活用した林道の被災状況調査
(金木支署：青森県中泊町)



国有林の被害状況及び復旧方針について
地元自治体への説明
(置賜署：山形県小国町)

■山地災害対策緊急展開チーム等の派遣

国有林、民有林にかかわらず大規模な山地災害が発生した際、国や地方公共団体等による山地災害等対策業務の迅速かつ円滑な実施を図るため、山地災害対策緊急展開チーム等を編成し、職員を県や市町村等に派遣します。



令和4年8月青森県外ヶ浜町での豪雨災害にかかる林野庁・専門家等との合同調査
(現地踏査)

【林地荒廃により流出した流木の有効活用】

令和4年8月の大雨の影響により、青森県外ヶ浜町において山地災害が発生し、林地荒廃に伴い大量の土砂・流木等が下流に流出しました。青森森林管理署では、溪流内や治山ダムで捕捉された流木が、次期降雨等により再び流下するおそれがあるため、応急対策として流木を除去しました。除去した流木のうち、バイオマス燃料として再生利用が可能な流木について、有効活用に取り組みました。



溪流内の流木の堆積状況
(青森署：青森県外ヶ浜町)



再生利用可能な流木の選別
(青森署：青森県外ヶ浜町)



バイオマス工場への搬入状況
(青森県平川市)

2 「新しい林業」に向けた取組の展開

(1) イノベーションで、伐採→再造林保育の収支をプラス転換

◆東北森林管理局新しい林業実行プラン（令和4年7月作成）

■筋刈の本格導入

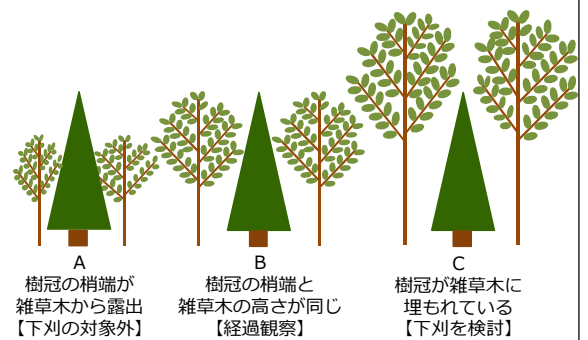
従来、下刈は刈払面積100%の全刈で行ってきましたが、刈払面積70%の筋刈を導入することにより、ha当たりの下刈単価の縮減に取り組みます。

令和4年度を期首とする「筋刈導入3カ年計画」に基づき、従来の全刈から**筋刈の導入・拡大**により、下刈単価の縮減を目指しています。

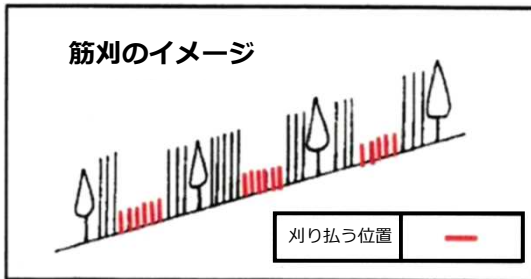
また、下刈の低コスト化に向けては、下刈実施の判断目安に基づく実施による**回数の低減や作業期間の延長による軽労化**などにも取り組んでいます。

筋刈の実施
R4：全署1箇所(712ha)
→ R5：全下刈面積の25%以上(1,375ha)

下刈実施の判断目安



筋刈のイメージ



筋刈による刈払い
 (盛岡署：岩手県雫石町)

■一貫作業における大苗植栽の標準化

伐採時に使用した林業機械を地拵や苗木の運搬に活用するなど、**伐採から造林までの一貫作業を推進**しています。伐採・造林一貫作業との組合せにより**大苗を植栽**することで、下刈回数を2回に減らし、下刈経費の縮減に取り組みます。



林業機械による造材作業
 (秋田署：秋田県仙北市)



搬出に使用したフォワードを
 活用した苗木の運搬
 (青森署：青森県平内町)



スギコンテナ大苗
 (苗長60cm～)

区分	R4年度	R5年度
①一貫作業 件数	51件	55件
②立木販売との 混合契約件数	3件	11件
①及び②における 大苗植栽本数	136 千本	141 千本

※植栽本数は、翌年度春植栽分も含む

■寒冷地型早生樹ユリノキの植栽

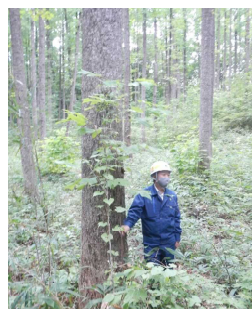
寒冷な東北地方でも良好な成長を示すユリノキについて、植栽試験地を新たに2箇所設定します。研究機関等からの調査協力を得つつ、植栽適地や育林技術の検証、需給調査を通じた東北産ユリノキの木材利用価値の評価を行い、**寒冷地型早生樹施業の確立**を目指します。



H28設定植栽試験地(2年生当時)
 (三陸北部署：岩手県田野畑村)



H29設定植栽試験地(6年生当時)
 (米代東部署：秋田県北秋田市)



岩手大学滝沢演習林の
 ユリノキ(45年生当時)

ユリノキ植栽試験地

岩手県田野畑村 (H28)
秋田県北秋田市 (H29)
青森県東通村 (R5新規)
山形県鶴岡市 (R5新規)

生産性向上実現プログラム

生産性の高い林業を確立するため、令和4年度を期首とする「生産性向上3か年計画」に基づき、林業事業体と連携し、造材手際の向上を進め造材工程のアップに取り組みます。

令和5年度は、引き続き日報の作成と活用、情報共有と作業指示を徹底し、段取りの向上に取り組むほか、**造材工程のアップ**に取り組みます。



プロセッサ造材
(米代東部署：秋田県大館市)



生産性向上中間会議
(米代西部署：秋田県五城目町)

収穫調査の効率化

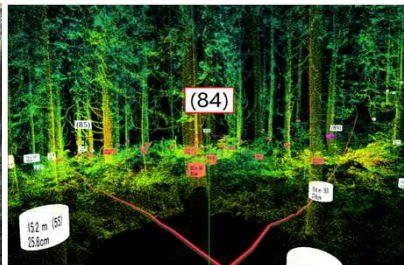
3Dレーザの活用や新たな調査方式により、**収穫調査の効率化**を図ります。

全署1箇所以上で、3Dレーザを試行し、データ検証等を実施します。

事前踏査や区域表示の際に分散型標準地(50㎡)調査を行い、新たな手法としての効率性や精度の検証に取り組みます。



3Dレーザによる測定
(仙台署：宮城県仙台市)



取得したデータで作成した
3次元点群表示



4mポールで50㎡の範囲測定
(秋田署：秋田県大仙市)



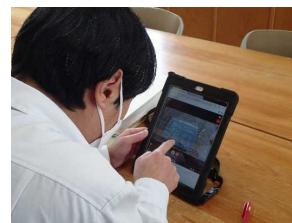
林分蓄積測定器による蓄積把握
(由利署：秋田県にかほ市)

ICT機器の活用

ドローンやウェアラブルカメラ、GNSSなどのICT機器を積極的に試行し、**事業ベースでの利活用に向けた情報発信**に取り組みます。



ドローン操作訓練
(下北署：青森県むつ市)



治山現場との遠隔臨場
(下北署：青森県むつ市)



GNSS活用講習会
(局：秋田県秋田市)

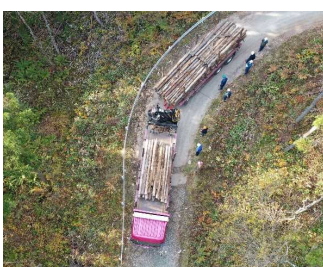
路網の整備

それぞれの道の役割や自然条件、作業システム等に応じて適切に組み合わせた路網の整備を推進するとともに、木材の大量輸送や災害時の代替路機能に対応できるよう、**路網の強靱化・長寿命化**に取り組みます。

区分	R 4年度	R 5年度
1種林道	1(調査) 1(工事)	1(調査) 1(工事)
強靱化	9路線	11路線
シート工法	12路線	26路線

● 1種林道

セミトレーラー等の大型車両が通行できる1種林道を整備します。



フルトレーラーによる木材運搬(イメージ)

● 壊れにくい林道

防災機能の強化に向けた林道の開設・改良を推進するとともに、簡易な資材による低コストな施工技術の確立に取り組みます。



覆式落石防護網工
(秋田署：秋田県美郷町)



東北式シート工法(軸掘れ軽減対策)
(岩手南部署：岩手県花巻市)

(2) 林業従事者の所得と労働安全の向上

林業経営体の健全・安定した経営に資するため、一定の**事業量を安定的に発注**していくほか、**複数年契約**に取り組みます。また、林業における労働災害を低減していくため、林業従事者への**安全指導や研修の実施、安全装備の導入等**を推進します。また、危険予知活動において、**林業のヒヤリハット事例を共有**し、災害の未然防止のための安全意識を高める取組を進めています。

複数年契約（新規）

区分	R 4年度	R 5年度
新規件数	7	8
面積 (ha)	1,286	1,200
材積 (千m ³)	90	80
コンテナ苗 植栽本数 (面積)	34千本 (16ha)	246千本 (119ha)

※複数年契約の期間は2～3年となる。



林業事業者への安全指導
(最上支署：山形県鮭川村)



労働災害防止協議会
(遠野支署：岩手県遠野市)

(3) 長期・持続的な林業経営体の育成

◆林業の担い手育成への協力

林業経営体が長期的・安定的な経営を行えるよう、**現地検討会を通じた先進的な技術の普及等**に取り組みます。また、将来の担い手の育成に向けて各県で取組が進められている**林業大学校等への講師の派遣やフィールドの提供等**を実施します。



林業事業者を対象とした広葉樹採材検討会
(最上支署：山形県真室川町)



秋田林業大学校への講師派遣
(秋田支署：秋田県秋田市)

○管内林業大学校との連携体制

学校名	連携体制	窓口となる署
いわて林業アカデミー <研修センターに相当>	運営協議会に盛岡署が参画	盛岡森林管理署
秋田県林業トップランナー研修 (通称：秋田林業大学校) <研修センターに相当>	秋田を元気にする緑の覚書	秋田森林管理署
山形県立農林大学校 <専修学校に相当>	やまがた森林ノミクスの推進に関する覚書	最上支署
青い森林業アカデミー <研修センターに相当>	青い森づくりの推進に関する覚書	青森森林管理署
みやぎ森林・林業未来創造カレッジ <研修センターに相当>	みやぎ林業イノベーション推進に関する覚書	仙台森林管理署

◆民有林への技術支援

■林業技術の紹介

各森林管理署等で開催する現地検討会へ市町村職員や林業事業者を受け入れるなど、**新たな林業技術を紹介**します。



ICT機器活用講習会
(上小阿仁支署：秋田県上小阿仁村)



一貫作業現地検討会
フォワーダを活用した苗木運搬
(宮城北部署：宮城県南三陸町)

■ 森林総合監理士等による民有林行政の支援等

市町村が中心となる森林経営管理制度を後押しするため、**森林総合監理士等を育成**しつつ、県と連携して、**市町村森林整備計画の策定に対する技術的支援**を行います。また、経営管理実施権の設定を受ける事業者の選定委員会への参画、集積計画の作成に当たっての**伐採区域の設定や作業道等の路網の選定への助言**、**森林環境譲与税の情報提供**などにも積極的に取り組みます。

さらに、国有林職員の研修への市町村林務担当職員等の受け入れを行うほか、森林官等が**国有林や事業地へ市町村職員を案内**し、森林の見方や事業の監督・検査業務を紹介するなど、市町村職員の基礎的なスキルアップに協力します。



森林経営管理制度市町村職員研修会
(青森署：青森県青森市)



市町村等を対象とした林分評価技術向上のための現地検討会
(久慈支署：岩手県久慈市)



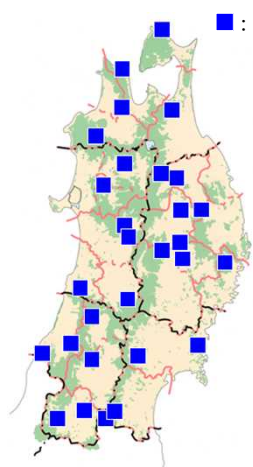
間伐及び森林の多様性発揮のための現地見学
(宮城北部署：宮城県大和町)

■ 森林整備推進協定の締結

民有林と森林共同施業団地を設定し、**民国連携した林業専用道の整備、路網・土場の相互利用**に取り組みます。また、ロットを確保して民有林材を補完し、有利販売となるよう、**協調出荷**に取り組みます。

■ 民有林と共同で行うレーザ計測

民有林と連携して、航空レーザを活用した森林資源の把握や国有林情報も含めた森林クラウド整備に取り組みます。



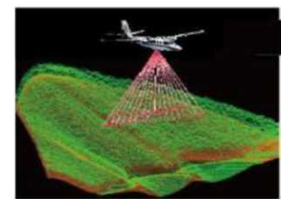
■：森林共同施業団地

(令和5年4月1日時点)

県	協定締結	協定面積(千ha)		
		国	民	計
青森	6	22.0	7.1	29.1
岩手	8	10.0	17.0	27.0
宮城	3	11.8	8.2	20.0
秋田	8	50.7	34.5	85.2
山形	6	52.1	20.4	72.5
計	31	146.7	87.1	233.8

H28：24件 → R4：31件

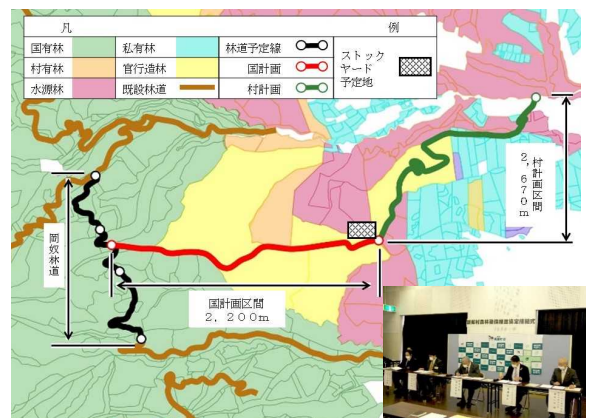
自治体との共同実施
R4実績：山形県
→ R5予定：青森県内3町村
岩手県内5市町
山形県
山形県内2町



【森林整備推進協定の締結事例～国が民国連携予算を活用して民有林内に林道開設～】

民有林と国有林が連携しカーボンニュートラルを見据えた森林の整備を進め、「**県南地域のカラマツ団地**」構想の実現に資することを目的として、三八上北森林管理署と新郷村、地域林業及び木材関連産業関係者が協定を締結しました(総面積3,328ha)。

官行造林地内に国が民国連携予算を活用して国有林林道と連結し共同使用する林道の一部を開設するとともに、共用ストックヤードを設置します。効率的な搬出や計画的な事業の実施により、民有林と国有林の**効率的かつ安定的な林業経営基盤づくりの推進、林業事業者の育成と地域振興**等に取り組みます。



新郷村森林整備推進協定路網計画図・締結式(右下)
(三八上北署：青森県新郷村)

3 木材産業の国際＋地場競争力の強化

◆国産材の安定供給

国産材需要の動向、民有林からの供給など、**地域ごとの状況を踏まえ、国有林材を供給**します。製材工場等との間で木材の計画的な供給に関する協定を締結し、安定的に木材を供給する「**安定供給システム販売**」を推進しています。また、間伐などにより得られる木材を安定的に供給する体制を整え、地域の活性化に貢献していきます。



木材生産の様子



土場から木材を運搬



トレーラーへの効率的積込や丸太の大量保管ができるストックヤード
(岩手北部署：八幡平市)

製品生産システム販売	R 4年度	R 5年度
材積	388千m ³	526千m ³

◆東北森林管理局における高品質ブランド材の供給

管内の地域ごとの優れた森林資源を有効に活用するため、素材生産事業において出材される優良材を、**天然林国有林高品質材**及び**高齢級国有林高品質材**として、**地域ごとに新たなブランド化を推進**します。また、原木市場の関係者等を通じて需要動向や情報収集を行い、需要者のニーズを踏まえた採材を実施します。



天國 青森ヒバ



天國 広葉樹



高国 秋田杉



高国 前森スギ

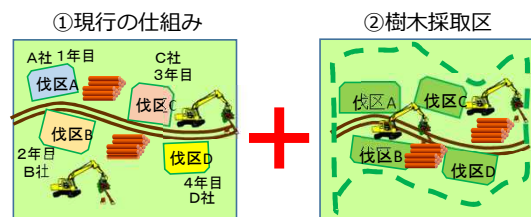
ブランド	R4出荷材積
天國 青森ヒバ	238m ³
天國 南部アカマツ	1m ³
天國 広葉樹	128m ³

ブランド	R4出荷材積
高国 秋田杉	567m ³
高国 前森スギ	55m ³

【樹木採取権制度の運用による木材供給】

現行の入札を基本としつつ、国有林の一定の区域（樹木採取区）において立木を一定期間、安定的に採取する権利を民間事業者を設定できる**樹木採取権制度を活用**し、安定的な事業量を確保することで森林経営管理制度の要となる林業経営者の育成を推進します。

名称	樹種	区域面積 (ha)	採取可能面積 (ha)	存続期間
東北1大曲・船岡樹木採取区	スギ、その他広葉樹	190.74	118.52	R4.2.18～R12.2.17
東北2田子地区樹木採取区	スギ、カラマツ、アカマツ、その他広葉樹	289.87	143.01	R4.3.16～R12.3.15



樹木採取権制度のイメージ

※現行の国有林の伐採ルールを厳守。伐採跡地の植栽は樹木採取権者への請負により、国が行う。

4 都市等における「第2の森林」づくり

◆事業や庁舎等への木材利用

再生可能な資源である木材の利用は、炭素の貯蔵や資材の製造・加工時の二酸化炭素の排出削減により、地球温暖化の防止にも貢献しています。東北森林管理局では、**治山や林道の土木構造物、庁舎等への木材の利用**を推進します。



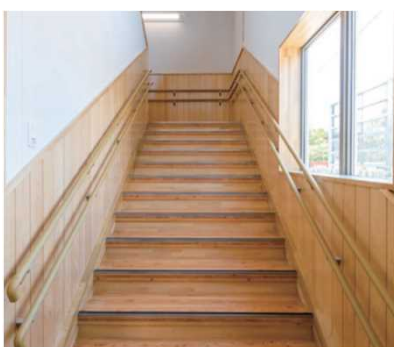
治山事業への木材の利用
(湯沢支署：秋田県横手市)



治山事業への木材の利用
(最上支署：山形県戸沢村)



林道事業への木材の利用
(米代東部署：秋田県鹿角市)



令和3年度に新築した森林技術・支援センター、金木支署中里森林事務所（青森県中泊町）

左：廊下・展示コーナー（化粧壁はスギCLT）

中央：階段（カラマツCLT）

右：会議室（腰壁はヒバ材羽目板）

区分	R 4年度	R 5年度
庁舎等竣工件数	0	1

◆消耗品等への木材利用

間伐材チップを活用したコピー用紙、封筒等の調達や、「脱プラスチックは会議のお茶から」として、**カートカン**（カップやストロー無しでも飲める紙製飲料缶。国産材チップを活用）の調達等を進めています。



コピー用紙



名刺、封筒



ファイル、ノート



カートカン

【東北森林管理局の木づかい 注目ポイント】

局や署では、オフィス家具や暖房器具など様々な国産材製品を積極的に調達して、**木づかいPR**に取り組んでいます。



オフィステーブル



会議室テーブル



ペレットストーブ

5 新たな山村価値の創造

◆森林サービス産業の推進

健康、観光、教育など様々な分野で森林空間を活用する「森林サービス産業」を推進します。

にっぽんうつく

日本美しい森 お薦め国有林

特に訪れていただきたい森を「日本美しい森 お薦め国有林」として全国93箇所を選定し、重点的な施設整備や情報発信に取り組んでいます。東北森林管理局管内では、**11箇所**を選定しています。



白神山地・暗門の滝自然観察
教育林
1,360.17ha
標高240～360m、最高地点830m
静と動が織りなす悠久の森「白神のブナ林」と秘境「暗門の滝」

津軽署



焼走自然観察教育林
241.13ha
標高550～600m、最高地点850m（岩手山2,038m）
岩手山麓の四季と熔岩流のコントラスト

岩手北部署



温身平風致探勝林
54.68ha
標高約420～500m
森林セラピー基地ー白い森の国おぐーブナの森
温身平

置賜署



五葉山自然観察教育林
1,280.96ha
標高 全般：780～1,351m／最高：1,351m／最低：560m
三陸海岸の展望と季節の花が楽しめる森林

三陸中部署



夏油高原野外スポーツ地域
(夏油高原スキー場)・夏油
自然観察教育林
537.19ha
標高 最低地点：350m／全般：600～1,050m／最高地点：1,300m
新緑から紅葉まで満喫できる名湯と豪雪の恵み

岩手南部署



仁別自然休養林（仁別国民の森）
2,795.23ha
標高 全般：220～300m／最高：1,171m（太平山山頂）／最低：200m
天然秋田杉の古里「仁別国民の森」

秋田署



鳥海自然休養林（中島台地区）
942.18ha
標高 全般：460～550m／最高：830m／最低：450m
異形ブナが誘う神秘的森

由利署



万里の松原自然観察教育林
124.57ha
標高 最低地点：10m／全般：10～30m／最高地点：30m
地域を守り地域に守られる「万里の松原」
～風、砂、人、街を守る悠久のクロマツ林～

庄内署



葉山風景林（葉山）
630.29ha
標高 最低地点：890m／全般：890～1,462m／最高地点：1,462m
修験の山にアプローチ
～四季折々の自然と眺望絶佳を楽しむ～

山形署



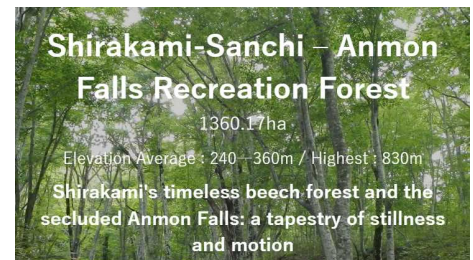
山刀伐峠風景林（山刀伐峠）
37.86ha
標高 最低地点：470m／全般：470～500m／最高地点：500m
俳聖「松尾芭蕉」の旅を偲ぶ峠越え
～史跡と自然が楽しめる歴史の道～

山形署



白鷹虚空蔵山風景林（白鷹山）
4.10ha
標高 最低地点：890m／全般：890～994m／最高地点：994m
上杉鷹山（ようざん）公ゆかりの山に登ろう
～日本五大虚空蔵尊（こくぞうそん）「福満（ふくまん）大虚空蔵尊」～

山形署



Shirakami-Sanchi - Anmon Falls Recreation Forest
1360.17ha
Elevation Average: 240-360m / Highest: 830m
Shirakami's timeless beech forest and the secluded Anmon Falls: a tapestry of stillness and motion

英語版webページ

◆森林環境教育の推進

森林管理署等では、国有林野を「国民の森林」と位置づけ、森林環境教育の実践の場として利用されるよう、プログラムの整備やフィールドの提供等に積極的に取り組んでいます。



木工体験（木育）
（最上支署：山形県真室川町）



小学生の森林教室
（金木支署：青森県五所川原市）



小学生の下刈体験
（秋田署：秋田県大仙市）



小学生の伐採現場見学
（三八上北署：青森県十和田市）

◆レクリエーションの森

国有林野を広く活用してもらう目的で、美しい森林や山岳、渓谷、湖沼などの景勝地及び野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」として設定しています。

自然休養林 【11箇所 12,571ha】

特に風景が美しく、保健休養に適している森林です。自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなど複合的に楽しむことができます。

自然観察教育林 【27箇所 6,713ha】

自然の変化に富み、自然観察学習に適している森林です。野生動植物の観察や森林の働きなどを学ぶことができます。

森林スポーツ林 【5箇所 260ha】

森林とふれあうアウトドアスポーツを楽しむ森林です。キャンプ、サイクリングなどで自然を体感できます。

野外スポーツ地域 【39箇所 11,272ha】

スキー場や宿泊施設などが一体となった地域です。雄大な自然の中で、爽快な汗を流すことができます。

風景林 【34箇所 9,852ha】

名所、旧跡等と一体になって景勝地を形成している森林です。森林の雄大な眺望と地域の歴史を感じることができる森林です。

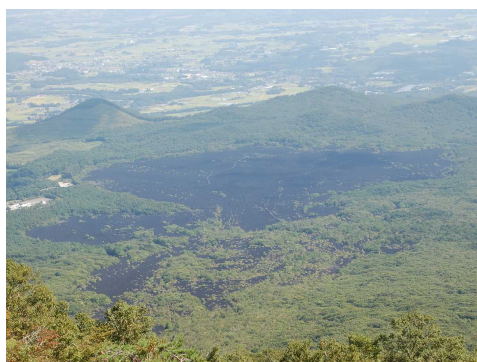
風致探勝林 【3箇所 123ha】

山岳、湖沼、渓谷等が一体となった美しい自然景観の探勝を楽しむ森林で、遊歩道等を利用して、様々な樹木、四季折々の自然の織りなす彩りを味わえます。

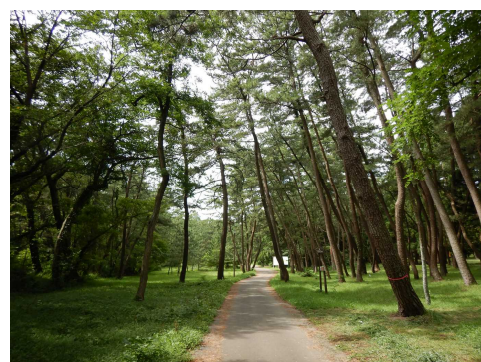
R4.4.1時点



眺望山自然休養林
(青森署：青森県青森市)



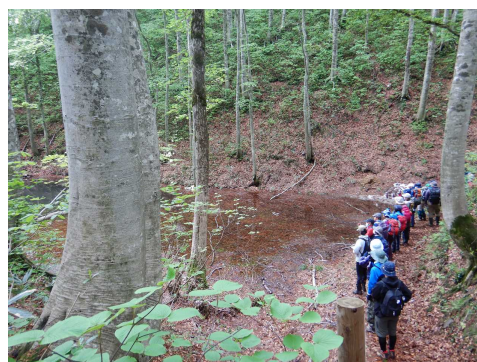
焼走り自然観察教育林
(岩手北部署：岩手県八幡平市)



風の松原森林スポーツ林
(米代西部署：秋田県能代市)



月山スキー場野外スポーツ地域
(山形署：山形県西川町)



与蔵沼風景林
(最上支署：山形県鮭川村)



温身平風致探勝林
(置賜署：山形県小国町)

◆森林散策

森林の中を歩くことは、気分のリフレッシュになるだけでなく、運動不足の解消や筋力の維持など、健康づくりにも役立ちます。最近では、アルファピネンのような針葉樹から多く発散される森林揮発性物質を嗅ぐことによって、認知症予防効果が期待されるなど、新たな研究も進んでいます。国有林の中から、**スニーカーなど比較的軽装で散策を楽しめる箇所を24箇所**厳選し、**森呼吸のできるお手軽健康ウォーキングBOOK**としてホームページ等で紹介しています。



〈管内の散策スポット〉

青森県	5箇所
岩手県	7箇所
宮城県	2箇所
秋田県	6箇所
山形県	4箇所



4 薬研渓流遊歩道

ウォーキングMAP

散歩道情報アドレス
https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/ryo/simokita/attach/pdf/index_13.pdf

奥薬研修景公園
レストハウス

大畑ヒバ施業実験林

乙女橋 (吊り橋)

ずいどう (トンネル)

レストハウスから1.55km、ずいどうを抜けたら折り返し

- 総距離: 2,250m
- 目安時間: 70分
- (50代男/約4,000歩/身長170cm)
- (60代女/約4,500歩/身長150cm)
- 傾斜: 0~10° (高低差20m)
- 階段: なし

シノリガモ 青森ヒバ

お問合せ先
下北森林管理署
電話 050-3160-5885
受付時間 平日 8:30~17:15

現地へのアクセス

Googleマップアドレス
<https://www.google.co.jp/maps/@41.3867163,141.0474011,17z?hl=ja>

アクセス

- 公共交通機関 (下北バス)
- JR下北駅→大畑町 (約15.5km、約35分)
- 大畑町→薬研渓流遊歩道 (約10km、約20分)
- 車 (むつ市)
- むつ市街→薬研渓流遊歩道 (約25.5km、約40分)

おすすめポイント

- ・大畑ヒバ施業実験林
- ・森林鉄道跡 ずいどう (手塚のトンネル)
- ・薬研渓流

写真ギャラリー

ヒバ産地別見本林

乙女橋からの紅葉

大滝

晩秋の薬研渓流

ずいどうの先に見える新緑

木漏れ日のヒバ林

青森ヒバの稚樹

スギの瘤に実生した青森ヒバ

森呼吸のできるお手軽ウォーキングBOOK はこちらで紹介しています



6 その他の取組

国民共通の財産である国有林野の管理経営に当たっては、国有林野を「国民の森林」として位置づけ、国民に開かれた管理経営を推進しています。多様で豊かな自然環境や森林・林業に関する知識と経験を活かしながら、国民のニーズを踏まえた様々な取組を行っています。

◆国民参加の森林づくり

国民に開かれた国有林野の管理経営のため、自ら森林づくりに参加したいという国民の要請も踏まえ、森林管理署等と地方公共団体、NPO等が協定を結び、**国有林野を森林づくりフィールドとして提供**しています。また、技術指導や助言、講師の派遣等の支援を行っています。

ふれあいの森 【16箇所 96ha】

自主的な森林づくり活動

社会貢献の森 【54箇所 23ha】

企業の社会的責任（CSR）活動などを目的とした森林づくり活動

木の文化を支える森 【5箇所 35ha】

地域の伝統文化などの継承に貢献するための国民参加による森林づくり活動

遊々の森 【47箇所 2,063ha】

森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動

多様な活動の森 【3箇所 17ha】

森林保全を目的とした森林パトロール、美化活動

モデルプロジェクトの森 【1箇所 490ha】

地域や森林の特色を活かした森林管理の実施を目的とした森林整備・保全活動 R5.3.17時点



社会貢献の森でのCSR活動
(青森署：青森県平内町)



ふれあいの森での植樹活動
(青森署：青森県青森市)



遊々の森での森林散策
(岩手北部署：岩手県八幡平市)



遊々の森での植樹活動
(遠野支署：岩手県遠野市)

◆分収造林の推進

社会奉仕や資材の安定確保等を目的として、森林づくりに取り組みたいとする企業や素材生産事業者等に対して、**分収造林制度の活用**を促します。また、再造林の気運を盛り上げるとともに、カーボンニュートラルの実現にも資するため、新たに契約を締結した企業等に対して**感謝状を贈呈**し、PRを図ります。



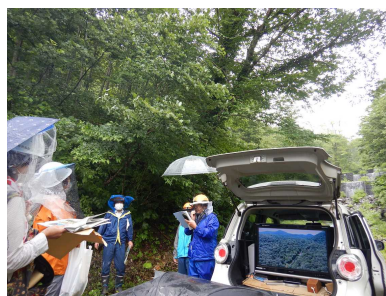
感謝状



分収造林地での植樹活動
(山形署：山形県村山市)

◆国有林モニター

国民の要請を的確に把握し、これを反映した国有林野の管理経営を推進するため、**一般公募により「国有林モニター」を依頼**しています。国有林モニターには、毎月の資料による情報提供や現地見学会への参加等を通じて理解を深めていただいています。



現地見学会
【治山施設の説明】
(岩手南部署：岩手県北上市)



モニター会議
(秋田県秋田市)